

第9回・インターネットフォーラム 木曾町 開田小学校の集い(H27年11月28日)

中日新聞 2015.12.1

木曾川がつなぐ人の縁

市民140人 長野・開田高原で交流



木曾地域に向けた感謝のメッセージを書き込む参加者ら。長野県木曾町の開田小で

木曾川上下流の住民が親交を深める「木曾三川がつなぐ山とまちインターネットフォーラム」があり、名古屋

も眺めたりした後、開

市民ら百四十人が二十一日に長野県木曾町の開田高原地区を訪れた。地区内の名所を巡った後、町住民に市内での川の浄化活動を紹介したり、感謝のメッセージを寄せた布を贈った。名古屋市内を流れる堀川の浄化に取り組む市民団体などをつくる実行委が主催し九回目。当初はインターネット上で木曾地域の住民と交流していたが、三回目からは年ごとに木曾郡六町村を順に訪れている。

田小学校で、木曾町の住民三十人に堀川の清掃活動の様子などを紹介。縦一辺、横二辺ほどの布に「おいしい水とおいしい空気をありがとう」「日本の原風景をいつまでも守って」といった感謝のメッセージを寄せ、原久仁男町長に手渡した。町側からは、同小一年の九人が民謡「開田嫁入唄」を披露したほか、町観光協会の千村孝男会長(ネバ)が開田高原の歴史と文化を説明した。

市民らは、木曾馬と触れ合ったり、雪で白く染まった御嶽山の姿も眺めたりした後、開田は寒いけど、山や川の自然がきれい。木曾川の上下流で一緒になつて自然を守りたい」と笑顔で話し、実行委事務局で名古屋堀川ライオンズクラブの服部宏さん(ネバ)は「互いの取り組みへの理解を深められた。今後も交流活動を続けたい」と話した。(前田寛季)

木曾馬の開田君

木曾馬は 30 頭程が放牧されています。
夜は自分で厩舎に・・・

